

月例会「レーダ気象」のお知らせ

日時 昭和54年12月13日(木) 09.30~16.00

場所 気象庁(3号庁舎)観測部会議室

シンポジウム: レーダ協同調査関連の研究発表と討論

午前: 降水調査関係

1. MTI 気象レーダにおける大地クラッタ除去の限界について
青柳二郎(気象研究所)
2. デジタルレーダエコー図による降水域特性の再現性
青柳二郎(気象研究所)
3. 気象レーダの3次元的表示について
松浦和夫(名古屋地方気象台)

4. レーダとアメダスによる降雨の量的観測について
未定(レーダ官署)

午後: 風および気温調査関係

1. アメダスの風とレーダエコーの発達・衰弱について
入田 央(名古屋地方気象台)
2. 電算機処理によるGMS, レーダ, アメダスの雷雨観測
里見 穂(気象衛星センター)
3. 降水の短時間予報へのレーダ, アメダスの利用について
柳沢善次(気象研究所)
4. レーダ, アメダスを用いたエコーの発達・衰弱の調査研究
未定(レーダ官署)

『身近な環境をみつめよう』研究コンクールの公募について

トヨタ財団では、設立5周年記念事業の一環として、『身近な環境をみつめよう』研究コンクールの公募を行っています。

このコンクールの対象となる研究は、『身近な環境』を対象として、その実態や動向を長期観測し、それによって日常生活圏の今後のあり方を模索しようとする研究です。

研究者の範囲は、小・中・高等学校の教職員・児童・生徒や、保健所・保育所・公民館・図書館などの地域の生活とつながりの深い施設に関係する人、主婦をはじめとする地域の住民、などを中心として、これに、大学・研究所・その他で専門的な研究活動に従事する人が加わった形が望まれています。

したがって、このコンクールへの応募主体は、既存の所属組織とは別の「〇〇研究会」などの任意団体を原則

とします。個人研究は対象となりません。

選考委員会にて選考が行なわれ、約20件の研究奨励賞候補が選出されます。選出された研究奨励賞候補に対して、研究計画案の具体化(内容、方法、体制の確立等)に必要な費用(50万円以内の必要額)が助成されます。その後詳細な研究実施計画、報告会等をへて、最終的に研究奨励賞が決定されます。

公募期間は、54年10月15日から55年1月15日まで。

本コンクールに関心のある方および応募しようと思の方は、官製ハガキで下記まで応募用紙を請求して下さい。

記

〒160 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階

私書箱236 TEL (03) 344-1701

財団法人トヨタ財団 研究コンクール係